

地震って何だろう？

本課では地震が起きたときにどのように行動すればよいのかを学習者が理解すること、実行できるようになること、地震情報を聞き取れることができるようになることを目標にしています。

本課は、会話文(標準語)、会話文(熊本方言)、震度表、地震情報を聞こう！、地震が起きたときのテレビやラジオ放送、問題、読み物として避難する時に気をつけること、避難するときに持っていくきましょう！、熊本県の地図という構成になっています。

《会話文》

○流れ

- ・昨夜起きた地震について話す。
- ・地震についておおまかに触れる。
- ・地震対策にはどのようなものがあるのかを知る。

○熊本方言

- ・今回は、形容詞の変化、「でも」→「ばってん」、「を」→「ば」の3つを導入した。

本書にも、例は載せていますが、いくつか言い換えの問題をその場でさせると理解が出来るかの確認ができると思います。

- ・会話文は2回程度読み、語句の確認をして、学習者の理解を図ってもらいたいです。

《問題》

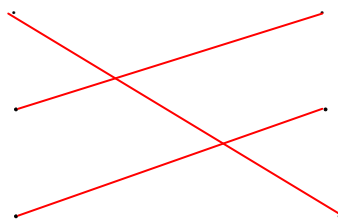
学習者が書かれている文の意味を理解し、正しいイラストを選択できるかどうかを見ます。また、()に正しい順番を記入できているかを確認し、間違っている場合は、指導を行います。

【解答例】

(1) ^{じぶん からだ まも}自分の体を守る！

(2) ^{ひ け}火を消しましょう！

(3) ^{でぐち つく}出口を作ろう！



全体的に読むという作業が多くなっているので、学習者の様子を見ながら進めてください。

また、日本と学習者の母国との違いについて話しながら進めてください。

避難するときに持っていくきましょう！では、一般的に必要とされているもののみ載せています。

学習者に記載しているもの以外で自分自身に必要なものがないか考えさせてください。

最後のページに熊本県の地図を入れています。学習者が住んでいるところを確認したり、近くの市町村の確認などを行う際にしようしてください。